

## マレーシア工科大学（UTM）国際部を訪問

2013年12月17日、UTM 国際部を訪問し、国際担当部長と懇談を行いました。筑波大学からの訪問者は、本澤まゆ美生命環境エリア支援室専門職員（支援室内マレーシア連携サポートチームリーダー）と甲斐田直子システム情報系助教の2名です。

訪問の第一の目的は、マレーシア工科大学と筑波大学生命環境系との学生交流協定文書の伝達です。この協定は、2012年11月に締結した学術交流協定の下、学生交流を促進するために交わされる協定であり、年間8名の学生の交換を推進するものです。

UTM 側は、国際担当部長 Ho Chin Siong 教授がご対応くださいました。お昼時の訪問であったため、大学から車で5分程度にあり UTM の学生達もよく利用するという日本でもおなじみのイオンショッピングセンター内にて、マレー料理をいただきながらの懇談となりました。主に、学生交流状況、学生生活等についてお話を伺うことができました。UTM には日本人を含む多くの留学生が学んでいるとのことで、広大なキャンパス内に立地する割安な学生寮で生活しながら、学生同士の生の国際交流が進んでいるとのことでした。

UTM 国際部訪問を通じて、本グローバルコモンズ連携プログラムの目的である、事務的な連携を含めた総合的な連携の構築を行うことができました。

UTM 国際部事務室の様子

